女性の就業継続のための

とキャリアアップシステム

CCUS における就業履歴の蓄積は、男性のみならず女性の就業継続にもご活用できます。女性の復職時における CCUS 活用のメリットや、女性の様々なライフイベントにおける復職のモデルケースをご紹介します。

~建設キャリアアップシステムとは?~

「建設キャリアアップシステム(CCUS)」は、技能者が、技能・経験に 応じて適切に処遇される建設業を目指して、技能者の資格や現場 での就業履歴等を登録・蓄積し、能力評価につなげる仕組みです。 技能者の技能レベルに応じた4段階のカードを発行しています。







建設 陽子 詳しくはこちら

レベル1 (ホワイト) レベル2 (ブルー)

レベル3 (シルバー)

レベル4 (ゴールド)

女性の復職時における CCUS 活用のメリット

~技能者としてのメリット~



休業してもキャリアがリセット されることなく、復職時に休業 前のキャリアからリスタートす ることができ、適切な処遇や更 なるキャリアアップを目指すこ とが可能です。

~事業者としてのメリット~



女性技能者の復職時に、CCUS で過去の就業履歴等をすぐに確 認できますので、技能経験に応 じた採用を検討することが可能

ケース1

産休・育休からの復職



A さん (30 代前半) 左官技能者

工業高校を卒業後、 地元の左官会社に入社。



一人目の出産に

CCUS の活用に よりレベル2から

二人目の出産に よる産休・育休

CCUS の活用により再度 レベル2からリスタートし、 レベル3にキャリアアップ!

レベル4に向けて引 き続き CCUS に就業

CCUS に技能者登録をしてキャ

リアスタート! 先輩職人に同行

して仕事の基本を学びます。

レベル1

(入社~)

よる産休・育休 を取得。

リスタート! 23

を取得。 26

履歴を蓄積していく。

[年齢] 18

レベル 2

22

産休・育休①

レベル2 (職場復帰)

産休・育休②

27

レベル2 (職場復帰)

レベル3

ケース2

介護からの現場復帰



B さん (40 代後半) 鉄筋技能者

専門学校を卒業後、 地元の鉄筋会社に入社。

CCUS に技能者登録をしてキャ リアスタート! 先輩職人に同行 して仕事の基本を学びます。



親の介護により事務 所勤務に配置換え。

CCUS の活用によりレベル3からリスタート! 最終的にレベル4のゴールドカードを取得し、 現場の責任者として活躍する。

[年齢] 20

27

33

40

レベル1

(入社~)

レベル2

レベル3

レベル3になり、職

長として後輩を指導

できる立場になる。

介護による 事務所勤務

レベル3 (現場復帰)

レベル4

建設キャリアアップシステムの仕組み

積極的に能力評価 (レベル判定) を申請しましょう!



システムへの登録

登録すると、CCUS カードが交付されます。



現場での読み取り

現場に設置されたカードリーダー などで CCUS カードを読み取り ます。



就業履歴の登録

CCUS に就業履歴が登録され ます。



CCUS に登録された情報をもとにレベルを評価

CCUS に登録された就業履歴と資格によりカードの色がレベルアップします。



point

- ・技能と経験により カードの色がレベル アップ
- ・技能経験に応じた 処遇の改善に向け た取組が進められ ています。

「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」について

□行動計画の概要

平成 26 年に「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定して約5年、新・担い手3法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど建設産業を取り巻く環境の変化により、女性が就業しやすい環境が整いつつありました。そのような中、環境の変化に対応するため、次の5年間を見据えた「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を令和2年1月16日に官民共同で策定しました。新計画では、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現することを目的にして、「働きつづけられるための環境整備」を中心に、3つの柱で構成し、それぞれの柱の趣旨を達成するための目標を設定しました。

策定団体	国土交通省および建設業5団体*1、建設産業女性活躍推進ネットワーク*2 ※1 建設業5団体:(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会 ※2 現在の建設産業女性定着支援ネットワーク
内容	・「働きつづけられるための環境整備」を中心に3つの柱で構成 ①働きつづけられるための環境整備を進める ②女性に選ばれる建設産業を目指す ③建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる
数値目標	柱の趣旨を達成するための取組目標(~令和6年度) ・「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を前年度比で減少させる ・「入職者に占める女性の割合」を前年度比で増加させる ・新計画の内容の認知度 100% を目指す ・都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道 府県で目指す

建設産業女性定着支援ネットワークへの加入について一

建設産業女性定着支援ネットワーク(以下、当ネットワーク)は、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に2018年度に設立され、全国各地に組織されている、女性の定着を推進する活動を行っている団体によるネットワークを構築しています。当ネットワークでは、この取組を全国に根付かせるために、新規団体を募集しています。建設産業で働く女性の入職、定着を推進することを主たる目的とした団体であれば、幅広く加入頂けますので、ぜひ加入をご検討ください!

【問い合わせ先】建設産業女性定着支援ネットワーク

(事務局: (一財) 建設業振興基金) TEL 03-5473-4572 MAIL jyokatsu@kensetsu-kikin.or.jp



詳しくはこちら